

上映までの道のり  
実行委員会立ち上げから  
当日開演直前まで



やんぞー！



何人来てくれるの？



準備できた？



オエー  
ーイイ

# 自分らしく生きられる幸せ



ケアニンはびきの

号外

私たちはそこから学ぶ！

今年一番の大仕事！

# ケアニンはびき 上映

この映画  
「メチャクチャいいわ」

ご本人を取り巻く、主介護者の思い、介護することの難しさ、ご家族一人一人の思いや葛藤、ケアマネさんの思い、介護職の思いを考えた、色んな立場の思いを考えた、色んな素敵な映画を「はびきの」で上映することができました。

上映後のアンケートでは、「ケアという言葉を変えて認識しました。」  
「介護職員の想いと姿勢がとても心にしみました。」  
「めっちゃくちゃ良かった！涙で目がパンパンです。」  
「60代後半になり色々考えさせられています。息子夫婦にも見て欲しいです。」

「いずれ自身も認知症になると思い、家族にどのように対応してもらおうか難しい問題です。」  
「親の事を思い出し、涙が出て自分はどうなるんだろうと思うと胸が痛かった。」

「自分の母が認知症でもっと寄り添いたい強く思いました。」  
「認知症の親がいてるので、寄り添うという言葉中々できないですが、少しでも心がけたいです。」

主催はケアニンはびきの実行委員会です。委員長は株式会社山勝ライブラリの山下勝巳さん。山下さんが声を発し、熱い思いに呼び寄せられた委員会メンバーたちと走り抜けた8ヶ月。何度も会議を重ね、多くの市民の皆様へ届けるために四苦八苦し、迎えた当日。

300名以上の来場者がありました。



加藤さんの講演に感銘

「第二部の講演会、本当に素晴らしかったです。体験のお話一言一言聞き洩らさないように一生懸命聞きました。利用者の方の為の介護、人をみるケア感動しました。死ぬまで人間らしく生きたいです。講演のようなケアができればいい」

「このようなメッセージを書き込んでくれていました。」

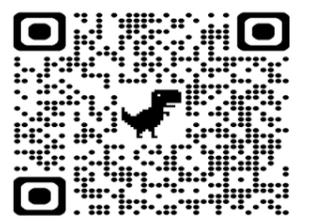


市長も応援

今回、沢山の委員会メンバーが関わりました。一つの事に向かうため、事業所の垣根を越え、深く繋がることができました。映画の裏で事業所、職種を超えたはびきのを、地域の今後を真剣に考える仲間が、次回を見据えて、ケアニンはびきの幕を一度降ろした。

自事業所だけでは得がたい人とのつながり、一体感や達成感、学ぶ事ばかりでした。今年感じた熱い気持ちを来年に！事業所、職種を超え、地域の今後を考える仲間を募っています！イベントと一緒に盛り上げましょう。参加をお待ちしています！

仲間募集中 →



TO BE CONTINUED



※ご支援いただいた金額の残金は能登復興支援金に寄付させていただきました。